キャラクター名: 八坂宗茂

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム＝ストーカー サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	♂
覚醒	犠牲	衝動	妄想	初期侵食率	30 %
出自	結社の一員	経験	汚れ仕事	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	1	0	0			1

HP	30
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ぶきをつくる		0	3	消+8+血LV*3		HP消費：Lv*2+2、Max剣攻：+33→100%で38
赤熱（Shattering Red）	白兵	8r+2		2D+魔LV*3		装甲無視、命中でHP12回復、HP-3、対抗種込み
		0				Max攻：2D+42→100%で2D+50
	白兵	8r+2				装甲無視、命中でHP12回復、HP-3、対抗種込み

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

思い出の一品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
対抗種	P 傾倒	N 恐怖		
親友(樫 京丞、エグザイル)	P 感服	N 劣等感		
亡き両親	P 幸福感	N 不安		
小鳥遊小夜	P 庇護	N 憧憬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ（BS）	2	2	Ma	-	-	-	-	
効果：	EA-p129　Cr値-Lv、下限7							
赤き剣	5	3	Mi	至近	自身	自動	-	
効果：	EA45　LV*2以下のHP消費して武器作成（白兵至近、攻：+消費HP+8）							
破壊の血	5	2	Mi	至近	自身	自動	-	
効果：	EA51　赤剣の攻＋LV*3＆G+5、HP2点消費							
渇きの主	3	4	Ma	至近	単体	対決	-	
効果：	EA45　装甲無視、命中でLV*4のHP回復							
炎神の怒り	3	3	Ma/Re	-	-	-	-	
効果：	EA105　組み合わせたEfの判定ダイス+LV+1、HP消費3点							
煉獄魔人	3	3	Ma	-	-	対決	-	
効果：	BC66　攻＋LV*3、炎神のHP消費=0							
氷の回廊(設定上、凝血の回廊)	1	1	Mi	至近	自身	自動	-	
効果：	EA106　飛行で戦闘移動、移動距離＋LV*2m							
先陣の火	3	2	SU	至近	自身	-	-	
効果：	EA107　ラウンド中、行動値+LV*5。シーン1回							
ブラバン	3	4	Ma	-	-	対決	80↑	
効果：	EA50　攻+LV*4、HP-5							
インフェルノ	1	4	Ma	-	単体	対決	100↑	
効果：	EA109　ダメージ与えた相手を行動済みにする							
血の宴	1	3	Ma	-	範囲選択	対決		
効果：	EA48　攻撃を範囲選択に。シナリオlv回							
ブラッドリーディング	★							
効果：								
効果：								

●覚醒
7歳のとき、UGNのエージェントだった父が同僚たちを家に招いて食事会を開いた。慰労会的な。
そのうちの1人がFHへの裏切りを画策しており、実力者だった父をはじめ、居合わせただけの母を含め、大人は全員死亡。
宗茂が最後の1人になったところで覚醒。対抗種の力を大暴れさせ、周囲にも大きな被害を出してしまう。
全員の血を使って巨大な武器を生成。怒りに任せた武器の形状は、「トゲトゲ付きの棍棒（鬼の金棒のイメージ）」。
裏切り者は原型が確認できないほどのミンチに。
「・・・〇体の遺体を確認。加えて成人男性と同程度の体積をもつ肉塊を1つ確認。
その場にいた八坂部長のご子息の証言から、おそらく犯人と思われる。彼の保護手続きも緊急で行われたし。」

●保護
上記事件の後、宗茂はすぐUGNに保護される。対抗種であることもすぐに発覚。
宗茂自身は明るく優しい普通の子だったが、事件を契機に人を信じられなくなる。
事件のこともあり、周囲の人間からは必要以上に距離を置かれる。
さらに対抗種の力を恐れ、他人を巻き込まないように自分からも人との距離を取り始める。
すでに覚醒していた同い年のチルドレンらとともに訓練を始めるも、即座に孤立していった。
保護されたての頃、訓練に来ていたpc1の金切と知り合い、飴をもらったり少し仲良くなったが、彼はすぐいなくなってしまった。

●成長
体格は大きく顔は強面に、言葉遣いは荒々しくなった（picrewで顔グラ作成済）。対抗種の力を恐れる人、利用しようとする人、さまざまな人間が思惑を持って自分に近づいたり遠ざかったりすることに、人への不信感はつのるばかり。
だが優しい心根は変わっていない。力（対抗種）を持ったからには、制御して使いこなすべき考えている。